

情報公開文書

作成日：2021年1月1日

版数：第1.0版

1. 研究の名称

遺残確認を支援するAIを用いた画像技術の開発

2. 研究の承認

本研究は、京都大学大学院医学研究科・医学部及び医学部附属病院 医の倫理委員会の審査を受け、研究機関の長の許可を受け実施しています。

3. 研究機関および研究責任者

研究機関：京都大学医学部附属病院 放射線部

研究責任者：診療放射線技師長 小泉 幸司

共同研究機関：株式会社 島津製作所

研究責任者：医療機器事業部技術部マネージャー 西野 和義

4. 研究の目的

手術では、使用したガーゼや縫合針などの異物が体内に残存していないかを確認する目的で、X線撮影が行われます。異物を認識し、強調することで視認性を高める画像処理技術が望まれており、医療安全の向上が期待されます。本研究の目的は、術後のX線撮影画像の確認時での体内の異物の発見を支援するAI画像処理を開発することです。

5. 研究期間

倫理審査承認日より2021年11月30日まで

6. 研究対象と情報の取得期間

2019年1月から2020年11月に、当院の手術室にてポータブルX線撮影を施行された方の臨床情報（画像情報）を使用します。

7. 個人情報の保護

京都大学医学部附属病院ホームページの個人情報保護方針を遵守し、研究により得られたデータを扱う際は、個人を特定できないように符号や番号を付けて匿名化します。なお、この研究の成果は専門の学会や学術雑誌に発表することがありますが、プライバシーを十分に尊重し、個人に関する情報

(氏名など)が外部に公表されないようにいたします。

8. 研究の拒否

拒否された場合には臨床画像が研究に用いられることはなく、拒否されたことにより不利益を被ることもありません。

9. 研究に関する資料の入手・閲覧方法

研究計画書および研究の方法に関する資料を入手又は閲覧を希望される場合には、研究責任者または連絡先にお問い合わせください。なお、資料は他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内に限られます。

10. 利益相反

本研究は、株式会社島津製作所の研究費を用いた共同研究として実施されます。研究責任者と、株式会社島津製作所との間において、研究の実施および成果に関して利益相反が生じる可能性に関して、「京都大学利益相反ポリシー」「京都大学利益相反マネジメント規程」に従い、「京都大学臨床研究利益相反審査委員会」において適切に審査しています。

11. 相談窓口

1)京都大学医学部附属病院 放射線部 診療放射線技師長
小泉 幸司 TEL; 075-751-3111 (代表)

2)京都大学医学部附属病院 相談支援センター
TEL; 075-751-4748 E-mail; ctsodan@kuhp.kyoto-u.ac.jp